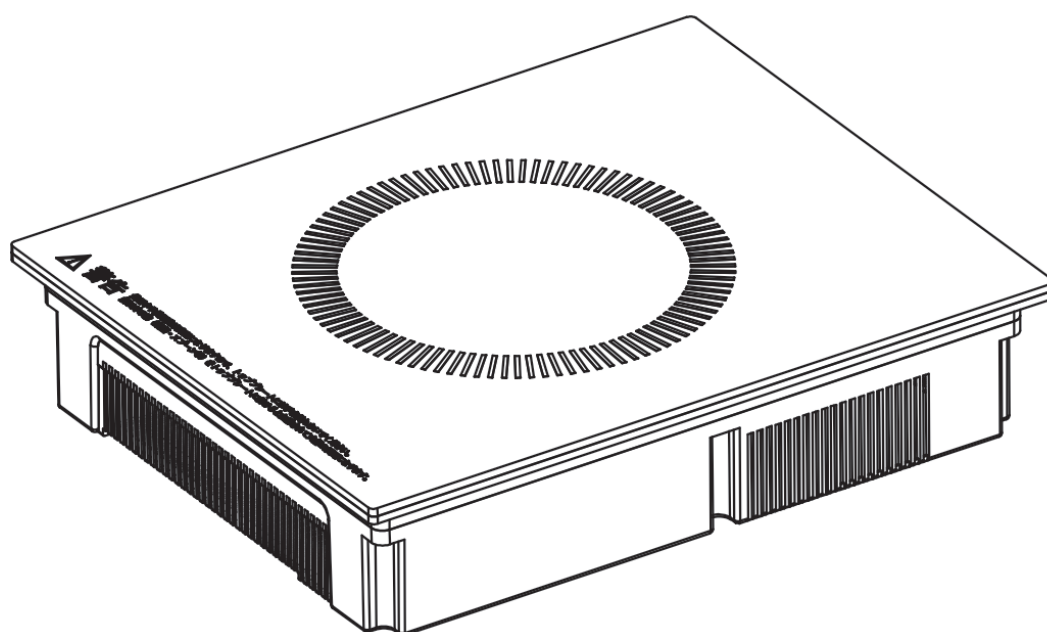


ビルトインIHコンロ

型式

DR24SAA

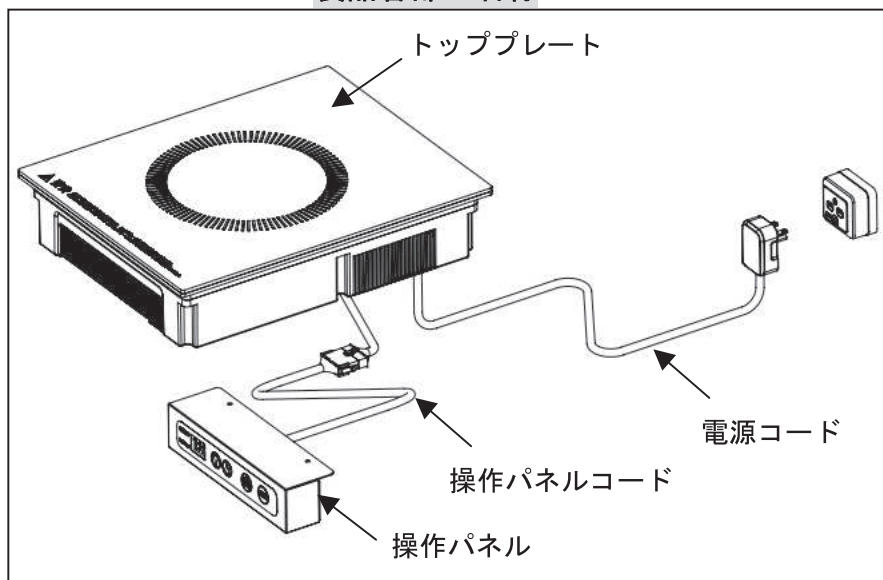
DR30SAA



設置される方へ

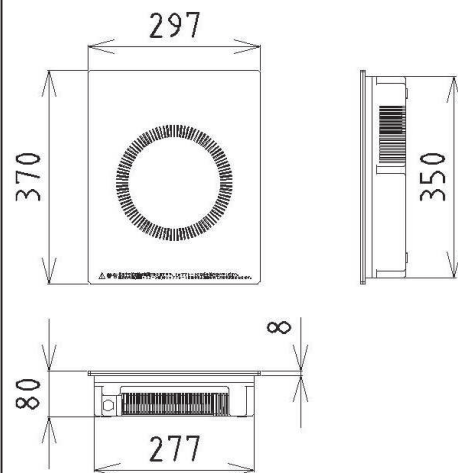
- 設置前に設置説明書と製品に附属されている取扱説明書をよく読み、正しく設置してください。
- この電磁調理器を設置する際は、必ず吸排気ができるように設置してください。
- キッチンユニットなどのような閉塞した架台や、吸排気が十分に取れない場所には設置しないでください。電磁調理器内の温度が異常に上がり、故障の原因となります。
- 設置後は、必ず試運転を行い、器具が正常に作動していることを確認してください。

製品各部の名称

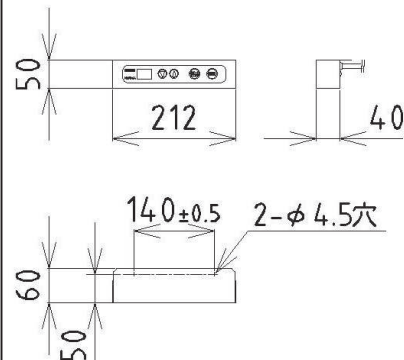


寸法図

●製品本体

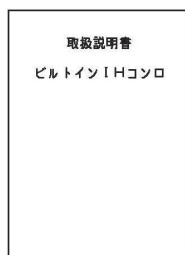


●操作パネル

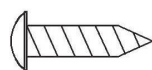


付属品

取扱説明書 (1冊)



タッピングねじ (2本)



準備していただくもの

マスキングテープ 幅が20mm程度のもの	コード押さえ (5個以上) 	シリコン GE東芝シリコン(株)社製 TSE382 又は同等品	コード押さえに使用するねじ タッピングねじを必要数 用意してください
------------------------------------	--	---	--

電気工事

- 電気工事を行って下さい。工事は電気工事士の免許を取得している方が行ってください。
- お客様ご自身では、絶対に据え付け工事をしないでください。
- 安全のために、漏電しゃ断器を設置してください。

定格電圧200V、定格20A、感度電流30mA、動作時間0.1秒以内のものを使用してください。

- 接地はD種接地工事を施工してください。中性線が接地され、単相3線式200Vであること。
- コンセントは、お客様が電源プラグを抜き差しできる場所に設置してください。

据え付け場所

- 設置は、火災予防条例、電気設備に関する技術基準を定める省令第59条に従い設置してください。
- 確実に吸気と排気ができる場所に設置してください。
- 吸気の温度が、常時35℃未満の場所に設置してください。
- 製品が高温・多湿の空気にさらされない場所に設置してください。
- 製品に水がかからない場所に設置してください。

注意

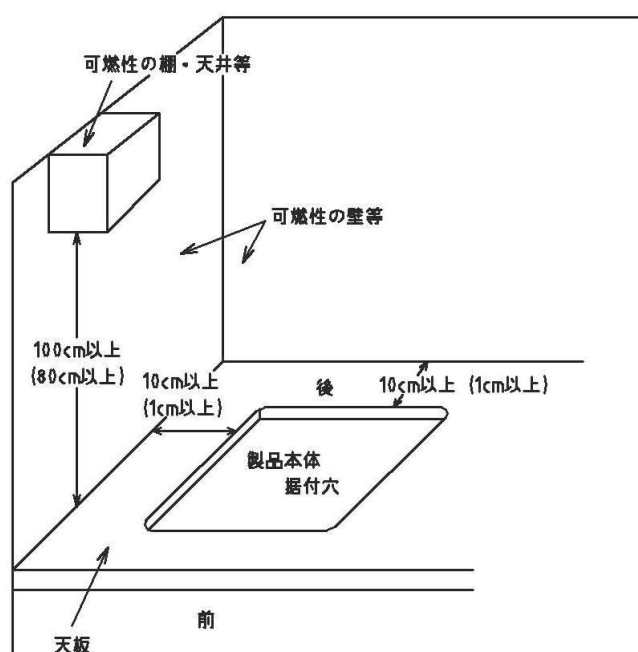
※据付穴は、可燃性の壁（木壁など）から据え付け穴が、左・右・後側10cm以上離れていること。

（防火構造壁の場合、その限りではない。）

※天板の上面と上方の棚は、100cm以上離れていること。

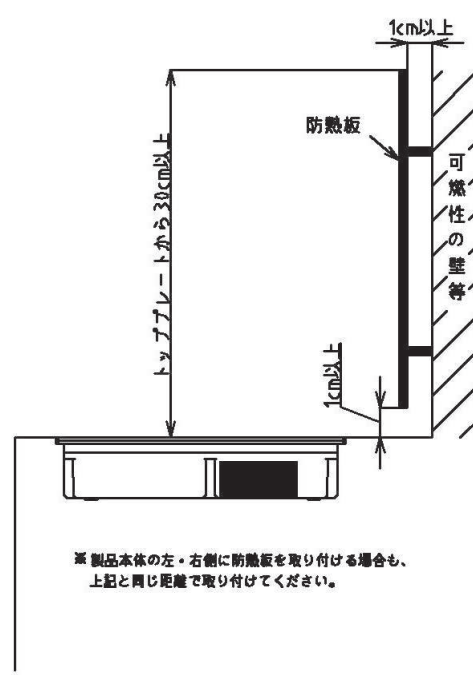
※製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属（メタルラス・金属板など）などと接触する場合は、電気的に接続しないよう設置すること。

又は、製品の金属部がキッチン・建造物の壁中の金属（メタルラス・金属板など）などと接触しないように設置すること。



周囲が可燃性の壁の場合

[() 内の距離は、周囲が不燃性の壁又は、右図の場合]



※製品本体の左・右側に防熱板を取り付ける場合も、上記と同じ距離で取り付けてください。

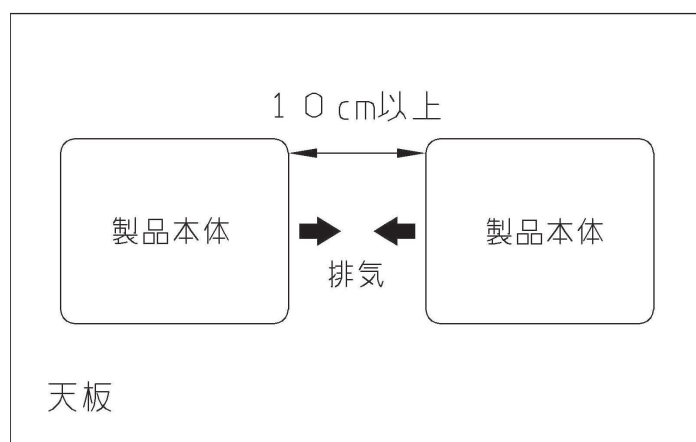
周囲が可燃性の壁であり

左図の距離に設置できない場合

設置位置

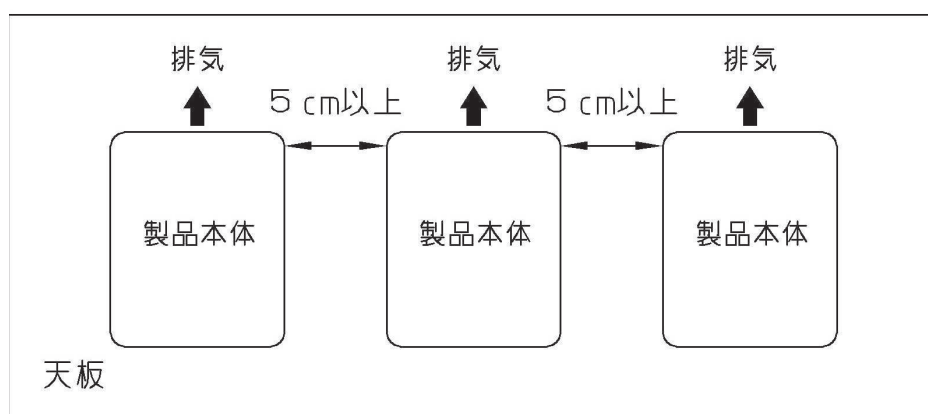
●製品本体を縦方向に並べて設置する場合。

- ・排気口を向かい合わせる場合は、トッププレートとトッププレートの間を10cm以上離して設置してください。



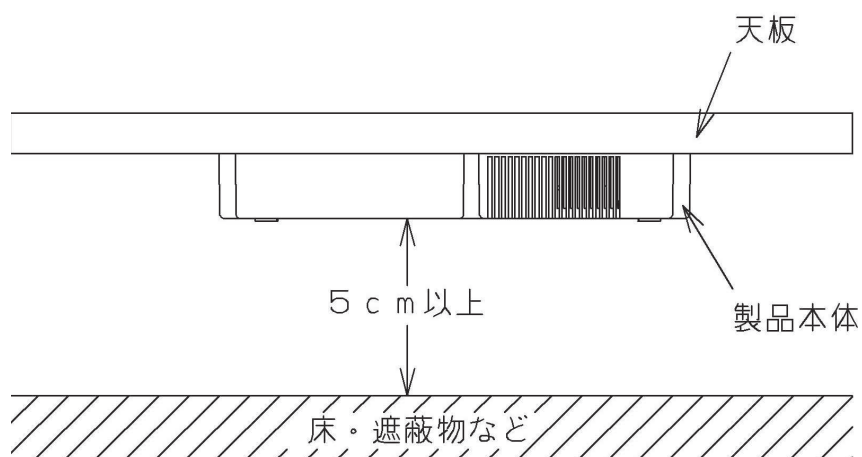
●製品本体を横方向に並べて設置する場合。

- ・排気口の向きを、同じ方向を向くように設置してください。



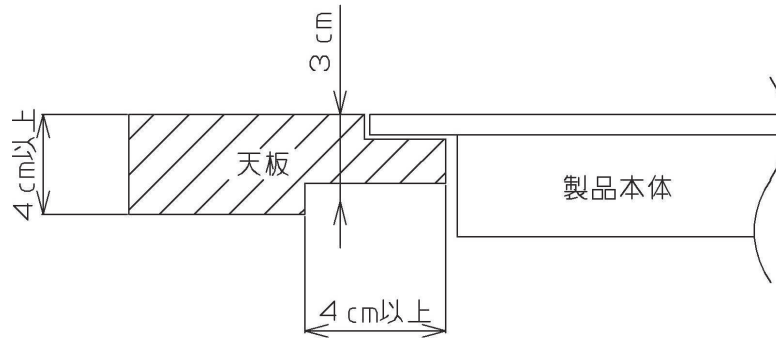
●製品本体下部から床・遮蔽物の距離

- ・製品本体の下部から床や遮蔽物の距離は5cm以上あけてください。



天板について

- 天板には製品本体の質量（5 k g）・鍋・調理物の重さが加わります。その重さに十分耐えられる強度の天板をお使いください。
- 天板の板厚が4 c m以上の場合は、吸気・排気ができるように製品本体取付穴の周囲を4 c mの幅で削ってください。



設置手順

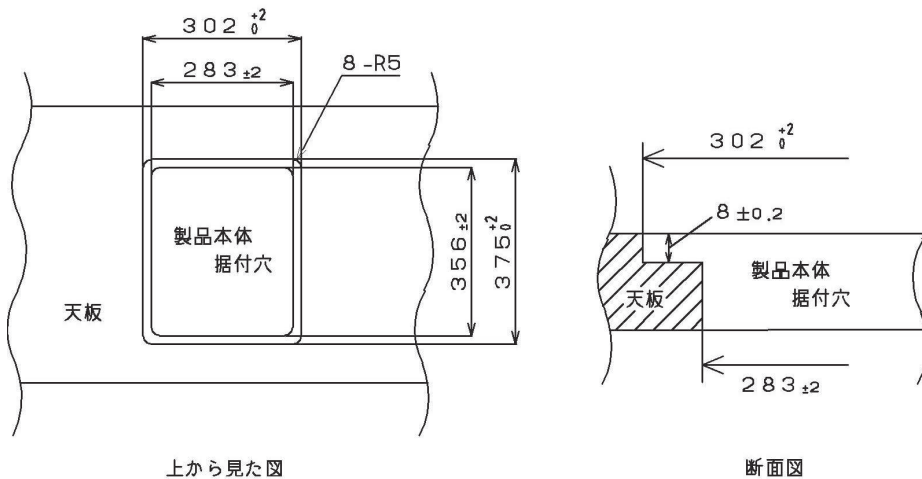
注意

※設置作業時は、絶対に電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

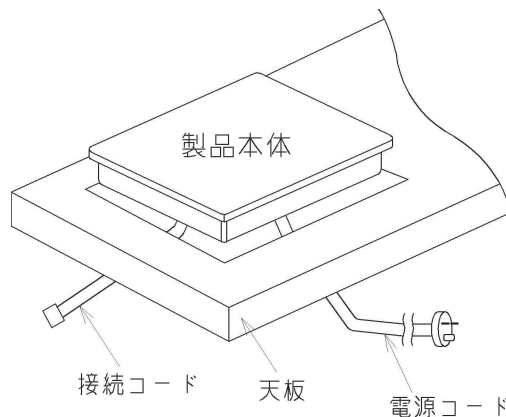
① 製品本体の据え付け

●製品周囲が開放状態の場所に設置する場合

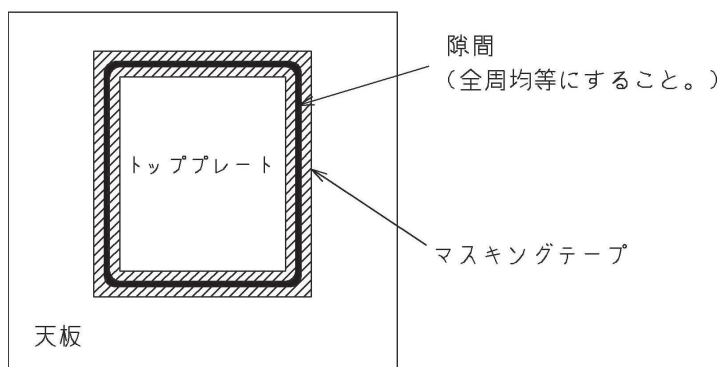
- ① 天板に製品本体据付穴をあけてください。



- ② 電源コードと操作パネルコードを据付穴に通して製品本体をはめ込んでください。



- ③ トッププレートと、天板にマスキングテープを貼ってください。
 ※トッププレートと天板の隙間の幅は全周均等になるようにしてください。



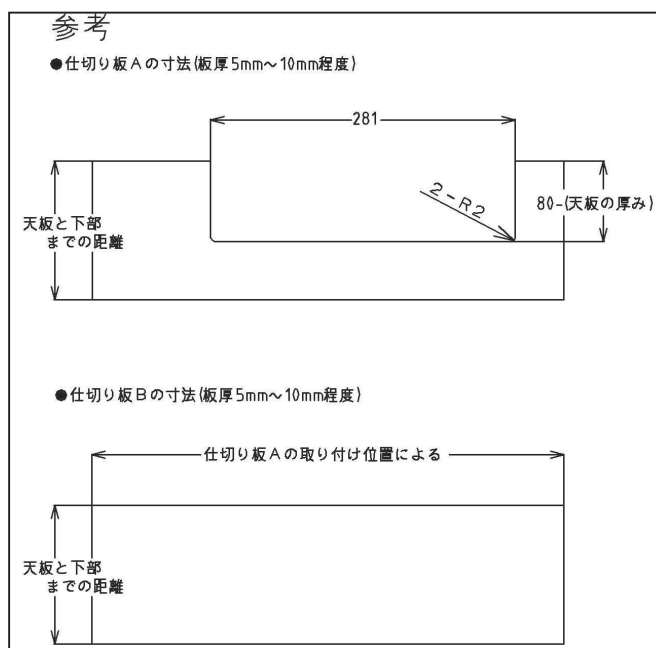
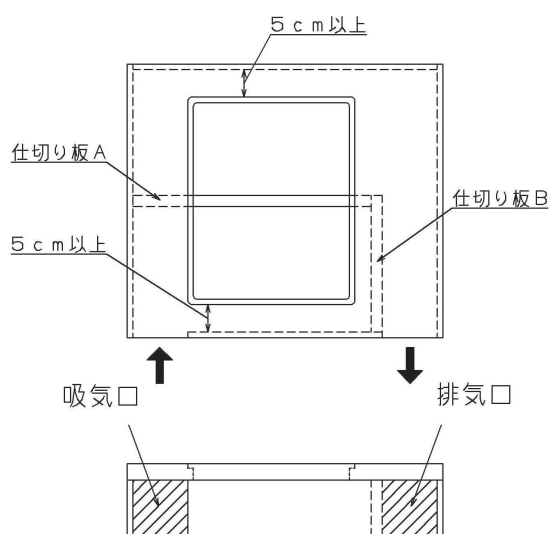
- ④ 隙間にシリコンを流し込むように塗布し、余分なシリコンをゆっくりときれいに拭き取ってください。
 ⑤ 拭き取ったらマスキングテープをゆっくりはがし、一昼夜天板を水平に放置してシリコンを硬化させてください。

注意

- ※シリコンが硬化する前に動かすとシリコンに隙間ができ、水などが電磁調理器本体の中に入って、感電や故障の原因となります。
 ※シリコンに異物（ゴミやホコリなど）が付着しないように保護してください。

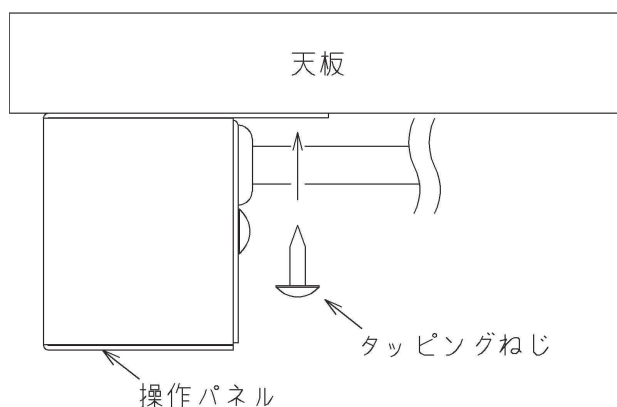
●製品周囲が密閉状態の場所に設置する場合

- 吸気口と排気口を設けてください。
- 吸気口と排気口の大きさは、 100 cm^2 以上としてください。
- 下図のように吸気と、排気を分ける仕切り板を設置してください。
 （製品本体の故障などにより、本体を取り外す可能性があるため仕切り板は取り外し可能にしてください。）
- 製品本体の吸気と、排気の妨げにならないよう下図の通り、 5 cm 以上間をあけてください。
- 仕切り板Aの切りかき部分には、製品本体と仕切り板Aの隙間を埋めるため市販のソフトテープ[厚さ 1 mm]（発泡ウレタン）などを貼付してください。



② 操作パネルの取り付け

- 操作パネルは、付属のねじで天板裏面に取り付けてください。



側面から見た図

注意

※天板から操作パネルがはみ出さないよう、取り付けてください。

(はみ出して取り付けると、邪魔になったり、誤操作する恐れがあります。)

※操作パネルを取り付ける際、操作パネルコードに負荷などがかからないよう気をつけてください。

③ 製品本体とコントローラを接続してください。

④ 配線処理をしてください。

- 配線はコード押さえなどでしっかりと固定してください。
- 操作パネル近傍に、操作パネルコードを固定するコード押さえを必ず取り付けてください。

⑤ 電源を接続してください。

- 電源プラグを専用のコンセントに差し込んでください。

⑥ 工事終了後の確認

- 据付工事が終了したら、下記のチェックを行ってください。

付属品の取付け

チェック

操作パネル取付用ねじ	
タッピングねじ 2本	

外観

トッププレートは汚れていませんか？	
-------------------	--

電源・動作

電源は単相 200Vですか？	
コンセントは、電源プラグが容易に抜き差しができる位置にありますか？	
水を入れた電磁調理器用鍋をトッププレートの中心にのせ、ON/OFFボタンを押し火力調節ボタンを押してください。 (電磁調理器で加熱できる鍋を使用してください。) ⇒ 加熱を始めましたか？	
それぞれのキーを押してください。 ⇒ 正常に動作していますか？	

- 確認が完了した後は、必ず「電源」スイッチを押して「..」表示されていることを確認した後、電源プラグを抜いてください。
- コンセントがどの位置にあるか、お客様に説明してください。